

2008年10月30日

2008年度 第2四半期決算説明資料

I. 業績サマリー	P.2
II. 2008年度第2四半期 連結決算について	P.3～10
III. 2008年度 業績予想について	P.11～17
IV. 新製品開発状況について	P.18～28
V. その他	P.29～30

[注意事項]

- 1) 「平成21年3月期 第2四半期決算短信」並びに本説明資料は、2008年10月30日午後2時に大阪証券取引所及び東京証券取引所において記者発表し、公開しております。また同時刻に、これらの資料は東京証券取引所の「適時開示情報閲覧サービス」に掲載されています。
- 2) 「平成21年3月期 第2四半期決算短信」並びに本説明資料に記載されている通期の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。
従いまして、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、ドル、ユーロ等の対円為替相場などが含まれます。



田辺三菱製薬

<目次>

I. 業績サマリー	…	2
1. 2008年度上期 業績サマリー	…	2
2. 2008年度 業績見通しサマリー	…	2
3. 配当金	…	2
II. 2008年度第2四半期 連結決算について	…	3~10
1. 損益状況	…	3~5
① 損益実績	…	3
② セグメント別売上高	…	3
③ 売上原価/販売費及び一般管理費	…	3
④ 主要製品売上高	…	4
⑤ 営業外損益	…	5
⑥ 特別損益	…	5
⑦ 法人税等	…	5
2. 財務状況	…	6~8
① 資産・負債・純資産の状況	…	6
② 主要項目の増減	…	6
③ キャッシュ・フロー計算書	…	7
④ 設備投資	…	8
⑤ 情報システム開発投資	…	8
⑥ 減価償却費	…	8
3. 関係会社	…	9~10
① 関係会社数	…	9
② 主要連結子会社の財務数値・従業員数	…	9
③ その他の連結子会社一覧	…	10
④ 持分法適用関連会社一覧	…	10
III. 2008年度 業績予想について	…	11~16
① 損益予想	…	11
② セグメント別売上高予想	…	11
③ 販売費及び一般管理費/総人件費予想	…	11
④ 主要製品売上高予想	…	12
⑤ 設備投資予想	…	13
⑥ 情報システム開発投資予想	…	13
⑦ 減価償却費予想	…	13
⑧ 四半期業績推移(損益計算書)	…	14
⑨ 四半期業績推移(主要製品売上高)	…	15
⑩ 当初予想との比較	…	16
<参考> 制度会計上の比較	…	17
① 2007年度上期 損益実績	…	17
② 2008年度 損益予想	…	17
IV. 新製品開発状況について(2008年10月30日現在)	…	18~28
1. 国内開発状況	…	18~19
① 新規化合物	…	18
② 効能追加	…	19
2. 海外開発状況	…	20
① 新規化合物	…	20
② 効能追加	…	20
3. 導出品の開発状況	…	21
4. 2008年度第1四半期決算発表時点(2008年7月30日)からの変更点	…	22
5. 新製品開発状況補足資料(2008年10月30日現在)	…	23~26
① 国内 新規化合物	…	23
② 国内 効能追加	…	24
③ 海外 新規化合物	…	25
④ 海外 効能追加	…	25
⑤ 海外 導出品	…	26
<参考> 主要医療用医薬品の解説	…	27~28
V. その他	…	29~30
1. 株式の状況	…	29
① 発行済株式数	…	29
② 配当金推移	…	29
③ 大株主の状況	…	29
④ 所有者別株式数分布状況	…	29
⑤ 外国人持株比率	…	29
2. その他関連データ	…	30
① 従業員数(就業人員数)推移	…	30
② 2008年4月以降のトピックス	…	30

I. 業績サマリー(単純合算比較)

(億円未満四捨五入)

1. 2008年度上期 業績サマリー

売上高	2,063 億円	対前年同期比	△ 14 億円	△ 0.7 %
○医薬品事業	1,910 億円	対前年同期比	△ 18 億円	△ 0.9 %
○その他事業	154 億円	対前年同期比	4 億円	2.4 %

医薬品事業では、売上高は1,910億円となり、前年同期比0.9%(18億円)の減収となった。これは、抗ヒトTNF αモノクローナル抗体製剤「レミケード」、麻しん風しん混合ワクチン「ミールビック」が引き続き大幅に伸長したものの、薬価改定の影響と、前年同期は円滑な合併実行のため流通在庫の積み増しによる売上高の増加という特殊要因があったが、今年はそうした特殊要因がなくなったことに起因するものである。その他事業では、国内向け化成品が好調に推移し、売上高は154億円(前年同期比2.4%増)となった。

◎各セグメントの主たる製品及び役務の内容

医薬品事業: 医療用医薬品、一般用医薬品

その他事業: 化成品、不動産賃貸業、情報サービス、宣伝製作物等

営業利益	341 億円	対前年同期比	△ 57 億円	△ 14.2 %
経常利益	351 億円	対前年同期比	△ 51 億円	△ 12.6 %
四半期純利益	164 億円	対前年同期比	△ 40 億円	△ 19.5 %

利益面では、売上の減少に加え、製品構成の変化によって売上原価率が悪化、売上総利益は1,274億円(前年同期比3.5%減)となった。販売費及び一般管理費(933億円)は、合併に係るのれん償却額の計上、本年7月のサイトクローマとの二次性副甲状腺機能亢進症治療薬CTA018に関するライセンス契約に係る導入一時金の計上などによる研究開発費の増加によって、営業利益は341億円(同14.2%減)、経常利益は351億円(同12.6%減)となった。四半期純利益は、特別損失において早期退職による特別退職金、名張第2研修所(三重県)の閉鎖に係る減損損失を計上した結果、164億円(同19.5%減)となった。

2. 2008年度 業績見通しサマリー

売上高	4,200 億円	対前年同期比	106 億円	2.6 %
○医薬品事業	3,906 億円	対前年同期比	111 億円	2.9 %
○その他事業	294 億円	対前年同期比	△ 6 億円	△ 1.9 %
営業利益	730 億円	対前年同期比	5 億円	0.7 %
経常利益	745 億円	対前年同期比	9 億円	1.2 %
当期純利益	355 億円	対前年同期比	36 億円	11.2 %

◆業績予想(5月7日公表)の修正

	2007年度	2008年度		
	実績	当初予想	修正予想	増減率
売上高	4,094億円	4,250億円	4,200億円	△ 1.2%
営業利益	725億円	750億円	730億円	△ 2.7%
経常利益	736億円	760億円	745億円	△ 2.0%
当期純利益	319億円	390億円	355億円	△ 9.0%

通期の連結業績予想については、主として診療報酬の包括化の影響等の要因を踏まえて国内医療用医薬品事業の売上高を見直したことに加え、特別損失について構造改革費用等を見直した結果、前回公表時の通期見通しに比べ増加することもあり、各段階利益とも前回発表時の予想を下回る見込みとなった。

3. 配当金

	2007年度		2008年度	
	2Q末	年間	2Q末	年間(予想)
1株当たり配当金(円)	13	26	14	28
配当性向	33.2%		36.7%	34.5%

(注) 2007年度の配当金は、田辺製薬の中間配当金(13円)と田辺三菱製薬の期末配当予定額(13円)を用いている。また、配当性向は田辺三菱製薬の下期の当期純利益からのれん償却額およびHCV訴訟損失引当金繰入額を除いた利益と期末配当予定額から算出している。

Ⅱ.2008年度第2四半期 連結決算について

1. 損益状況

① 損益実績

(単位:百万円)

	2007年度上期 (単純合算)	2008年度上期	対前年同期比較		対予想比較		
			増減額	増減率%	予想(注1)	増減額	増減率%
売上高	207,732	206,339	△ 1,393	△ 0.7	206,000	339	0.2
売上原価	75,755	78,940	3,185	4.2	74,500	4,440	6.0
売上原価率	36.5%	38.3%			36.2%		
販管費	92,241	93,324	1,083	1.2	98,000	△ 4,676	△ 4.8
販管費比率	44.4%	45.2%			47.6%		
営業利益	39,735	34,075	△ 5,660	△ 14.2	33,500	575	1.7
経常利益	40,208	35,140	△ 5,068	△ 12.6	34,000	1,140	3.4
特別利益	174	71	△ 103	△ 59.2	-	71	-
特別損失	6,859	4,838	△ 2,021	△ 29.5	6,500	△ 1,662	△ 25.6
四半期純利益	20,357	16,381	△ 3,976	△ 19.5	15,000	1,381	9.2

② セグメント別売上高

(単位:百万円)

	2007年度上期 (単純合算)	2008年度上期	対前年同期比較		対予想比較			主なポイント(対前年同期比較)
			増減額	増減率%	予想(注1)	増減額	増減率%	
医薬品事業 構成比	192,703 92.8%	190,951 92.5%	△ 1,752	△ 0.9	191,200 92.8%	△ 249	△ 0.1	国内医療用医薬品 △22億円 海外医療用医薬品 +16億円 製造受託品 △16億円 詳細は4ページ、主要製品売上高を参照
(国内)	(178,635)	(176,364)	(△ 2,271)	(△ 1.3)	(174,100)	(2,264)	(1.3)	
(海外)	(14,068)	(14,587)	(519)	(3.7)	(17,100)	(△ 2,513)	(△ 14.7)	
その他事業 構成比	15,028 7.2%	15,388 7.5%	360	2.4	14,800 7.2%	588	4.0	化成品の増加
(国内)	(10,197)	(10,945)	(748)	(7.3)	(10,400)	(545)	(5.2)	
(海外)	(4,831)	(4,443)	(△ 388)	(△ 8.0)	(4,400)	(43)	(1.0)	
売上高合計 構成比	207,732 100.0%	206,339 100.0%	△ 1,393	△ 0.7	206,000 100.0%	339	0.2	海外売上高比率 2007上:9.1%、2008上:9.2% 平均為替レート 2007上 1\$=120.50円(旧三菱ウェルファーマ) 1\$=123.26円(旧田辺製薬) 2008上:1\$=104.61円
(国内)	(188,833)	(187,309)	(△ 1,524)	(△ 0.8)	(184,500)	(2,809)	(1.5)	
(海外)	(18,899)	(19,030)	(131)	(0.7)	(21,500)	(△ 2,470)	(△ 11.5)	

③ 売上原価/販売費及び一般管理費

(単位:百万円)

	2007年度上期 (単純合算)	2008年度上期	対前年同期比較		対予想比較			主なポイント(対前年同期比較)
			増減額	増減率%	予想(注1)	増減額	増減率%	
売上原価 比率	75,755 36.5%	78,940 38.3%	3,185	4.2	74,500 36.2%	4,440	6.0	薬価改定の影響、原価率の高い製品の売上増加などにより売上原価率上昇
販管費 比率	92,241 44.4%	93,324 45.2%	1,083	1.2	98,000 47.6%	△ 4,676	△ 4.8	
研究開発費 比率	36,639 17.6%	37,617 18.2%	978	2.7	39,500 19.2%	△ 1,883	△ 4.8	導入契約一時金の支払い増加など
人件費	27,192	25,241	△ 1,951	△ 7.2	25,000	241	1.0	
販売促進費	7,121	5,723	△ 1,398	△ 19.6	7,400	△ 1,677	△ 22.7	支店・営業所統廃合等、合併による効率化など
のれん償却額 (注2)	42	5,027	4,985	-	5,000	27	0.5	
その他	21,245	19,716	△ 1,529	△ 7.2	21,100	△ 1,384	△ 6.6	支店・営業所統廃合等、合併による効率化など
総人件費	48,346	46,150	△ 2,196	△ 4.5	46,200	△ 50	△ 0.1	

(注1)2008年5月7日 2007年度決算発表時の公表数値

(注2)合併に係るのれん1,505億円を15年償却

④ 主要製品売上高

(単位:億円)(億円未満四捨五入)

	2007年度上期 (単純合算)	2008年度上期	対前年同期比較		対予想比較		
			増減額	増減率%	予想(注1)	増減額	増減率%
医療用医薬品	1,896	1,881	△ 15	△ 0.8	1,886	△ 5	△ 0.3
国内医療用医薬品	1,673	1,651	△ 22	△ 1.3	1,635	16	1.0
レミケード	135	177	43	31.5	167	10	6.3
ラジカット	146	139	△ 7	△ 5.0	144	△ 5	△ 3.7
アンブラーグ	92	91	△ 1	△ 1.1	98	△ 7	△ 7.6
ウルソ	84	80	△ 4	△ 4.3	89	△ 9	△ 9.6
セレジスト	79	82	3	3.9	77	5	5.8
タナトリル	64	61	△ 4	△ 5.6	64	△ 3	△ 4.9
ヘルベッサー	67	60	△ 7	△ 10.5	61	△ 1	△ 1.0
デパス	58	59	1	1.3	61	△ 2	△ 3.5
ヴェノグロブリン-IH	63	56	△ 7	△ 11.8	60	△ 4	△ 7.0
メインテート	52	50	△ 2	△ 3.5	50	0	0.4
リプル	46	43	△ 3	△ 6.5	43	0	△ 0.5
サアミオン	51	42	△ 9	△ 18.0	44	△ 3	△ 5.7
タリオン	31	35	4	13.3	38	△ 3	△ 8.4
オメプラゾン	32	28	△ 4	△ 12.2	31	△ 3	△ 8.6
ノイアート	29	28	△ 1	△ 3.4	27	1	2.7
テオドール	30	26	△ 4	△ 14.9	22	3	15.1
ガストローム	28	23	△ 5	△ 18.5	25	△ 2	△ 8.6
フルカリック	27	23	△ 4	△ 15.2	25	△ 2	△ 9.0
ノバスタン	15	15	0	0.0	14	1	4.1
ワクチン	69	103	34	50.1	65	38	59.1
(内、インフルエンザ)	(9)	(14)	(5)	(51.2)	(6)	(8)	(139.9)
(内、ミールビック)	(44)	(72)	(28)	(63.1)	(47)	(25)	(51.8)
ジェネリック(注2)	18	19	1	7.1	23	△ 4	△ 16.2
海外医療用医薬品	118	134	16	13.3	126	8	6.5
ヘルベッサー	24	31	7	27.6	30	0	1.6
アルガトロバン (ノバスタン)	16	20	4	25.1	21	△ 1	△ 5.7
タナトリル	11	13	2	14.2	9	3	33.4
ワクチン	11	12	1	7.4	8	3	41.3
製造受託品(注3)	89	73	△ 16	△ 17.8	70	4	5.1
技術導出契約金等	16	23	7	40.0	56	△ 33	△ 59.3
一般用医薬品	31	29	△ 2	△ 7.2	26	3	10.0
医薬品事業	1,927	1,910	△ 18	△ 0.9	1,912	△ 2	△ 0.1
その他事業	150	154	4	2.4	148	6	4.0
売上高合計	2,077	2,063	△ 14	△ 0.7	2,060	3	0.2

(注1)2008年5月7日 2007年度決算発表時の公表数値

(注2)田辺製薬販売の取扱品

(注3)他社製品の医薬原体等

⑤ 営業外損益

(単位:百万円)

	2007年度上期 (単純合算)	2008年度上期	増減額	主なポイント
営業外収益	2,028	2,254	226	
受取利息	1,007	1,161	154	
受取配当金	508	463	△ 45	
為替差益	-	200	200	
その他	512	430	△ 82	
営業外費用	1,555	1,189	△ 366	
支払利息	64	45	△ 19	
固定資産除却損	279	391	112	
寄付金	335	206	△ 129	
為替差損	104	-	△ 104	
その他	771	547	△ 224	たな卸資産廃棄損 △1億円

⑥ 特別損益

(単位:百万円)

	2007年度上期 (単純合算)	2008年度上期	増減額	主なポイント
特別利益	174	71	△ 103	
事業譲渡益	-	45	45	
固定資産売却益	48	17	△ 31	
投資有価証券売却益	75	9	△ 66	
その他	50	-	△ 50	
特別損失	6,859	4,838	△ 2,021	
特別退職金	1,607	3,916	2,309	当期 217名、前期 141名
減損損失	-	639	639	名張第2研修所閉鎖
投資有価証券評価損	27	97	70	
合併関連費用	3,673	-	△ 3,673	(前期)システム開発費用、拠点統合費用など
工場閉鎖損失	1,354	-	△ 1,354	(前期)エーピーアイ コーポレーション久寿工場(2009年3月閉鎖予定)
固定資産処分損	150	-	△ 150	
投資有価証券売却損	3	-	△ 3	
その他	43	186	143	

⑦ 法人税等

(単位:百万円)

	2007年度上期 (単純合算)	2008年度上期	増減額	主なポイント
税金等調整前当期純利益	33,523	30,373	△ 3,150	法定実効税率 40.60% 調整)
法人税、住民税 及び事業税	10,549	13,980	3,431	交際費等永久に損金に算入されない項目 3.38% 受取配当金等永久に益金に算入されない項目 △3.21% 住民税均等割 0.15% 試験研究費の特別控除 △6.77%
法人税等調整額	3,009	△ 268	△ 3,277	のれん償却額 6.68% 受取配当金の消去 3.62% その他 0.70%
少数株主利益	△ 393	280	673	
四半期純利益	20,357	16,381	△ 3,976	税効果会計適用後の法人税等の負担率 45.15%

2. 財務状況

① 資産・負債・純資産の状況

(単位:百万円)

	2007年度末	2008年度 第2四半期末	構成比%	増減額	主なポイント
総資産	807,261	822,478	100.0	15,217	
流動資産	382,026	359,991	43.8	△ 22,035	現金及び預金 △583億円、有価証券 +60億円、売上債権(注1) +25億円、たな卸資産 +88億円、短期貸付金 +199億円、繰延税金資産(流動) △3億円、その他の流動資産 △7億円
固定資産	425,235	462,487	56.2	37,252	有形固定資産 △17億円、無形固定資産 △49億円、投資有価証券 +400億円、繰延税金資産(固定) +32億円、前払年金費用 +8億円、その他の投資等 △2億円
負債	139,453	149,985	18.2	10,532	
流動負債	89,449	101,060	12.3	11,611	仕入債務(注2) +81億円、未払金 +67億円、未払法人税等 △15億円、その他の流動負債 △7億円
固定負債	50,004	48,925	5.9	△ 1,079	繰延税金負債 +5億円、退職給付引当金 △7億円、HIV訴訟健康管理手当等引当金 △3億円、その他の固定負債 △4億円
純資産	667,808	672,493	81.8	4,685	
株主資本	654,307	663,361	80.7	9,054	利益剰余金 +91億円
評価・換算差額等	△ 1,078	△ 5,400	△ 0.7	△ 4,322	その他有価証券評価差額金 △34億円
少数株主持分	14,579	14,532	1.8	△ 47	

② 主要項目の増減

(単位:百万円)

	2007年度末	2008年度 第2四半期末	増減額	主なポイント
現金及び預金	79,655	21,316	△ 58,339	P7「③ キャッシュ・フロー計算書」参照
有価証券	55,634	61,624	5,990	譲渡性預金、国債の増加など
売上債権(注1) (売上債権回転月数)	125,280 (3.67)	127,821 (3.72)	2,541 (0.05)	エービーアイコーポレーションの売上債権増加など
たな卸資産	73,473	82,320	8,847	レミケード、ワクチンなどの商品在庫が増加
短期貸付金	30,924	50,839	19,915	三菱ケミカルホールディングスグループ金融会社 エムシー・エフイーへの貸付金増加など
繰延税金資産(流動)	12,664	12,355	△ 309	
その他の流動資産	4,396	3,716	△ 680	
有形固定資産	139,510	137,762	△ 1,748	設備投資 +62億円、減価償却 △68億円、減損 △6億円
無形固定資産	149,056	144,142	△ 4,914	情報システム開発投資 +7億円、のれん償却 △50億円、減価償却 △6億円
投資有価証券	88,000	128,025	40,025	時価評価 △58億円、国債購入などによる増加
繰延税金資産(固定)	4,037	7,261	3,224	
前払年金費用	33,988	34,814	826	
その他の投資等	10,644	10,483	△ 161	
仕入債務(注2)	27,139	35,218	8,079	レミケード、ワクチンなどの仕入債務増加
未払金	18,206	24,894	6,688	早期退職に伴う特別退職金未払計上、山口田辺製薬・設備未払金増加など
未払法人税等	15,271	13,734	△ 1,537	
その他の流動負債	20,852	20,154	△ 698	
有利子負債	8,151	7,105	△ 1,046	
短期借入金(注3)	6,741	6,366	△ 375	
長期借入金(注4)	1,410	739	△ 671	
繰延税金負債	12,802	13,273	471	
退職給付引当金	16,928	16,263	△ 665	
HIV訴訟健康管理手当等引当金	1,758	1,688	△ 70	
スモン訴訟健康管理手当等引当金	5,093	4,768	△ 325	
HCV訴訟損失引当金	11,200	11,200	-	
その他の固定負債	2,053	1,688	△ 365	
資本金	50,000	50,000	-	
資本剰余金	451,184	451,184	-	
利益剰余金	153,332	162,418	9,086	当期純利益 +164億円、配当金支払い △73億円
自己株式	△ 209	△ 241	△ 32	
その他有価証券評価差額金	1,511	△ 1,864	△ 3,375	

(注1) 売上債権=受取手形+売掛金 (注2) 仕入債務=支払手形(除く営業外支払手形)+買掛金

(注3, 4) 借入金…1年以内返済予定長期借入金は長期借入金に含めた。

③ キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2007年度上期 (単純合算)	2008年度上期	増減額	2007年度 (単純合算)	主なポイント
現金・現金同等物期首残高	131,303	160,096	28,793	131,303	
営業キャッシュ・フロー	17,989	26,580	8,591	46,447	
投資キャッシュ・フロー	△ 9,758	△ 91,682	△ 81,924	△ 8,981	有価証券の取得・売却 △450億円 (前期 +50億円、当期 △400億円) 長期性預金の預入 +29億円 (前期 △29億円、当期 -) 有形固定資産の取得・売却 +10億円 (前期 △41億円、当期 △31億円) 投資有価証券の取得・売却 △394億円 (前期 △82億円、当期 △476億円)
財務キャッシュ・フロー	△ 5,777	△ 8,426	△ 2,649	△ 9,097	配当金の支払 +22億円 (前期 △95億円、当期 △73億円) MP ヘルスケア ベンチャー マネジメントの増資に伴う 少数株主の株式払込 △42億円 (前期 +42億円、当期 -)
現金・現金同等物に係る換算差額	341	△ 848	△ 1,189	△ 819	
現金・現金同等物の増減額	2,793	△ 74,376	△ 77,169	27,548	
連結子会社の増加による 現金・現金同等物の受入	1,277	-	△ 1,277	1,277	
連結子会社の減少による 現金・現金同等物の減少	-	-	-	△ 33	
現金・現金同等物期末残高	135,374	85,720	△ 49,654	160,096	

* 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表上の現金及び預金との関係(単位:百万円)

	2007年度上期	2008年度上期
現金及び預金	69,277	21,316
預入期間が3ヵ月を超える定期預金	△ 1,895	△ 1,299
取得日から3ヵ月以内に償還期限が到来する有価証券	18,656	15,000
短期貸付金に含まれる現金及び現金同等物	49,337	50,703
現金及び現金同等物	135,374	85,720

④ 設備投資

(単位:百万円)

	2007年度上期 (単純合算)	2008年度上期	増減額	2007年度 (単純合算)
設備投資額/発生ベース	6,244	6,244	0	9,987

<2008年度上期の主な取得設備>

田辺三菱製薬	14億円
・鹿島事業所包装設備	(1億円)
・枚方事業所の加島事業所への機能統合	(1億円)
山口田辺製薬	33億円
・新合成棟建設	(19億円)
MPテクノファーマ	4億円
三菱製薬(広州)有限公司	3億円
・輸液バッグ生産設備	(3億円)

⑤ 情報システム開発投資(無形固定資産)

(単位:百万円)

	2007年度上期 (単純合算)	2008年度上期	増減額	2007年度 (単純合算)
システム投資額/発生ベース	1,243	682	△ 561	1,945

<2008年度上期の主な情報システム開発投資>

田辺三菱製薬	6億円
・人事システム統一	(1億円)

⑥ 減価償却費

(単位:百万円)

	2007年度上期 (単純合算)	2008年度上期	増減額	2007年度 (単純合算)
有形固定資産	6,151	6,782	631	13,292
無形固定資産	1,037	563	△ 474	1,793

3. 関係会社

① 関係会社数

	2007年度末	2008年度 第2四半期末	増減数	特記事項
連結子会社数	32	32	-	
非連結子会社	2	5	3	(増加) 長生堂製薬(株)、長生薬品(株)、ホシエヌ製薬(株)
関連会社数 (持分法適用)	5 (5)	5 (5)	- (-)	
合計	39	42	3	

② 主要連結子会社の財務数値・従業員数

(単位:百万円)

会社名 項目	期	吉富薬品	ベネシス	エービーアイ コーポレーション	MPテクノファーマ	山口田辺製薬	三菱製薬 (広州)	天津田辺製薬
決算期		3月末	3月末	3月末	3月末	3月末	12月末	12月末
資本金	当2Q末	385	3,000	4,000	1,130	100	1,269	1,261
	前期末	385	3,000	4,000	1,130	100	1,269	1,261
	前2Q末	385	3,000	4,000	1,130	100	1,268	1,261
議決権 所有割合	当2Q末	100.0%	100.0%	52.6%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%
	前期末	100.0%	100.0%	52.6%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%
	前2Q末	100.0%	100.0%	52.6%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%
総資産	当2Q末	5,620	28,148	31,808	24,743	25,328	4,500	1,907
	前期末	5,160	30,156	32,447	25,742	20,836	4,401	1,954
	前2Q末	4,991	28,398	34,401	24,266	22,522	4,248	1,843
純資産	当2Q末	4,493	23,595	11,994	10,467	18,518	3,726	1,551
	前期末	4,120	23,905	11,472	10,311	18,689	3,473	1,472
	前2Q末	3,991	22,494	11,567	9,767	18,674	3,584	1,499
売上高	当上期	3,175	9,076	18,926	12,358	6,400	1,777	958
	前期	5,880	17,638	37,520	23,529	12,370	3,399	1,931
	前上期	3,009	8,135	18,853	11,225	6,015	1,478	889
営業利益	当上期	1,039	1,289	968	999	△ 111	292	116
	前期	1,568	3,573	874	1,526	357	559	62
	前上期	878	1,343	510	641	262	230	1
経常利益	当上期	1,045	1,280	856	984	△ 208	295	113
	前期	1,565	3,505	578	1,473	224	571	64
	前上期	873	1,298	413	582	217	242	3
純損益	当上期	556	817	521	600	△ 171	242	84
	前期	792	2,255	△ 486	888	133	458	27
	前上期	452	844	△ 389	344	118	206	3
研究開発費	当上期	-	1,452	553	354	-	12	-
	前期	-	2,866	1,915	560	-	10	2
	前上期	-	1,490	923	287	-	1	1
有形固定資産 減価償却費	当上期	1	693	694	527	999	52	34
	前期	2	1,785	1,625	1,146	1,401	94	69
	前上期	1	877	756	519	644	45	35
従業員数	当2Q末	234	433	683	518	253	419	317
	前期末	226	425	699	507	253	375	316
	前2Q末	226	421	710	501	250	383	328

③ その他の連結子会社一覧

(2008年9月30日現在)

	会社名	資本金(百万円)	議決権所有割合(内、間接所有分)	決算期
1	(株)ウェルファイドサービス	106	100.0 (—)	3月末
2	アルケマ吉富(株)	100	26.8 (26.8)	9月末
3	MPロジスティクス(株)	95	65.0 (—)	3月末
4	(株)バイファ	7,500	51.0 (—)	3月末
5	不二興産(株)	10	97.4 (57.4)	3月末
6	田辺製薬吉城工場(株)	400	100.0 (—)	3月末
7	田辺製薬販売(株)	70	100.0 (—)	3月末
8	(株)田辺アールアンドディー・サービス	44	100.0 (—)	3月末
9	田辺総合サービス(株)	90	100.0 (—)	3月末
10	ウェルファイド・インターナショナル社	US\$36,816,000	100.0 (—)	12月末
11	アルファ・テラピューティクス社	US\$50,000,000	100.0 (100.0)	12月末
12	ミツビシ ファーマ アメリカ社	US\$100	100.0 (—)	12月末
13	MP ヘルスケア ベンチャー マネジメント社	US\$100	65.0 (—)	12月末
14	タナベ ホールディング アメリカ社	US\$165	100.0 (—)	12月末
15	タナベ リサーチ ラボラトリーズ U.S.A.社	US\$3,000,000	100.0 (100.0)	12月末
16	タナベ U.S.A.社	US\$1,400,000	100.0 (100.0)	12月末
17	タナベ ファーマ デベロップメント アメリカ エルエルシー	—	— (—)	12月末
18	三菱製薬開発(北京)有限公司	US\$1,000,000	100.0 (—)	12月末
19	台湾田辺製薬股份有限公司	NT\$90,000,000	65.0 (—)	12月末
20	台田薬品股份有限公司	NT\$20,000,000	65.0 (—)	12月末
21	タナベ インドネシア社	US\$2,500,000	99.6 (—)	12月末
22	ウェルファイド コリア社	KRW 2,100,000,000	100.0 (—)	12月末
23	ミツビシ ファーマ ヨーロッパ社	€4,632,000	100.0 (—)	12月末
24	ミツビシ ファーマ ドイツ社	EUR 25,000	100.0 (100.0)	12月末
25	タナベ ヨーロッパ社	EUR 260,330	100.0 (—)	12月末

④ 持分法適用関連会社一覧

(2008年9月30日現在)

	会社名	資本金(百万円)	議決権所有割合(内、間接所有分)	決算期
1	小倉美術印刷(株)	145	30.8 (—)	12月末
2	興栄商事(株)	10	50.0 (—)	7月末
3	タマ化学工業(株)	126	24.4 (—)	3月末
4	サンケミカル(株)	342	48.3 (—)	3月末
5	サンテラボ・タナベ シミイ社	EUR 1,600,000	50.0 (—)	12月末

Ⅲ. 2008年度 業績予想について

① 損益予想

(単位:億円)(億円未満四捨五入)

	2007年度 下期実績	2008年度 下期予想	増減額	増減率%	2007年度 通期実績 (単純合算)	2008年度 通期予想	増減額	増減率%	主なポイント
売上高	2,017	2,137	120	5.9	4,094	4,200	106	2.6	
売上原価	748	826	78	10.4	1,505	1,615	110	7.3	薬価改定の影響、原価率の高い製品の売上増加などにより売上原価率上昇
売上原価率	37.1%	38.6%			36.8%	38.5%			
販管費	942	922	△ 20	△ 2.1	1,864	1,855	△ 9	△ 0.5	
販管費比率	46.7%	43.1%			45.5%	44.2%			
営業利益	327	389	62	18.9	725	730	5	0.7	
経常利益	334	394	59	17.7	736	745	9	1.2	
特別利益	18	0	△ 18	△ 98.4	20	1	△ 19	△ 95.0	
特別損失	134	57	△ 78	△ 57.9	203	105	△ 98	△ 48.3	
当期純利益	116	191	75	65.2	319	355	36	11.2	

② セグメント別売上高予想

(単位:億円)(億円未満四捨五入)

	2007年度 下期実績	2008年度 下期予想	増減額	増減率%	2007年度 通期実績 (単純合算)	2008年度 通期予想	増減額	増減率%	主なポイント
医薬品事業	1,868	1,997	129	6.9	3,795	3,906	111	2.9	詳細は12ページ、主要製品売上高予想を参照
構成比	92.6%	93.5%			92.7%	93.0%			
(国内)	(1,727)	(1,856)	(129)	(7.4)	(3,514)	(3,619)	(106)	(3.0)	
(海外)	(141)	(141)	(0)	(0.2)	(282)	(287)	(6)	(2.0)	
その他事業	149	140	△ 9	△ 6.3	299	294	△ 6	△ 1.9	
構成比	7.4%	6.5%			7.3%	7.0%			
(国内)	(106)	(97)	(△ 9)	(△ 8.7)	(208)	(206)	(△ 2)	(△ 0.8)	
(海外)	(43)	(43)	(0)	(△ 0.3)	(91)	(87)	(△ 4)	(△ 4.4)	
売上高合計	2,017	2,137	120	5.9	4,094	4,200	106	2.6	海外売上高比率 2007年度:9.1% 2008年度通期予想:9.1%
構成比	100.0%	100.0%			100.0%	100.0%			
(国内)	(1,833)	(1,953)	(119)	(6.5)	(3,721)	(3,826)	(104)	(2.8)	
(海外)	(184)	(184)	(0)	(0.1)	(373)	(374)	(2)	(0.4)	

③ 販売費及び一般管理費／総人件費予想

(単位:億円)(億円未満四捨五入)

	2007年度 下期実績	2008年度 下期予想	増減額	増減率%	2007年度 通期実績 (単純合算)	2008年度 通期予想	増減額	増減率%	主なポイント
販管費	942	922	△ 20	△ 2.1	1,864	1,855	△ 9	△ 0.5	
研究開発費	357	364	7	1.9	723	740	17	2.3	研究開発比率:17.6% 早期退職による従業員数の減少など
人件費	258	242	△ 17	△ 6.5	530	494	△ 36	△ 6.8	
販売促進費	61	61	△ 1	△ 1.0	133	118	△ 15	△ 11.0	
のれん償却額(注)	51	50	△ 1	△ 2.4	51	100	49	94.7	合併に係るのれん償却
その他	214	206	△ 8	△ 3.9	427	403	△ 24	△ 5.5	
総人件費	468	450	△ 18	△ 3.9	951	911	△ 40	△ 4.2	

(注)1,505億円を15年償却、2007年度はのれん償却費下期分(50億円)を計上

④ 主要製品売上高予想

(単位:億円)(億円未満四捨五入)

	2007年度 下期実績	2008年度 下期予想	増減額	増減率%	2007年度 通期実績 (単純合算)	2008年度 通期予想	増減額	増減率%
医療用医薬品	1,841	1,970	129	7.0	3,737	3,851	114	3.0
国内医療用医薬品	1,647	1,720	74	4.5	3,319	3,371	52	1.6
レミケード	151	196	45	29.8	286	373	87	30.6
ラジカット	133	149	16	11.7	279	287	8	3.0
アンブラーグ	84	95	11	13.0	176	186	10	5.6
ウルソ	82	83	1	1.2	166	164	△ 3	△ 1.6
セレジスト	74	82	8	10.9	152	163	11	7.3
タナトリル	60	58	△ 2	△ 2.8	124	119	△ 5	△ 4.2
ヘルベッサー	63	60	△ 3	△ 5.2	130	120	△ 10	△ 7.9
デパス	56	60	4	7.0	115	119	5	4.1
ヴェノグロブリン-IH	55	55	0	△ 0.8	118	110	△ 8	△ 6.6
メインテート	49	50	1	1.2	102	100	△ 1	△ 1.3
リプル	43	44	1	2.4	89	87	△ 2	△ 2.2
サアミオン	44	40	△ 5	△ 10.8	95	81	△ 14	△ 14.7
タリオン	52	67	15	29.5	83	102	19	23.4
オメプラゾン	29	30	1	2.1	62	59	△ 3	△ 5.4
ノイアート	29	30	1	2.1	58	58	0	△ 0.6
テオドール	30	26	△ 3	△ 10.5	60	52	△ 8	△ 12.7
ガストローム	26	21	△ 5	△ 18.7	54	44	△ 10	△ 18.6
フルカリック	24	22	△ 1	△ 6.3	51	45	△ 6	△ 11.0
ノバスタン	14	17	2	16.1	29	32	2	7.9
ワクチン	101	104	3	2.9	169	207	37	22.0
(内、インフルエンザ)	(58)	(54)	(△ 3)	(△ 5.4)	(66)	(68)	(1)	(2.2)
(内、ミールビック)	(32)	(38)	(6)	(18.3)	(76)	(110)	(34)	(44.3)
ジェネリック(注1)	19	23	4	23.0	37	42	6	15.2
海外医療用医薬品	118	133	15	12.4	236	267	30	12.9
ヘルベッサー	22	30	9	40.6	46	61	15	33.7
アルガトロバン (ノバスタン)	17	23	6	33.2	33	42	10	29.4
タナトリル	9	10	1	8.4	20	22	2	11.6
ワクチン	6	7	0	6.2	17	18	1	6.9
製造受託品(注2)	57	106	49	86.7	146	179	34	23.0
技術導出契約金等	19	10	△ 8	△ 44.7	35	33	△ 2	△ 5.3
一般用医薬品	27	27	0	△ 0.7	58	56	△ 2	△ 4.1
医薬品事業	1,868	1,997	129	6.9	3,795	3,906	111	2.9
その他事業	149	140	△ 9	△ 6.3	299	294	△ 6	△ 1.9
売上高合計	2,017	2,137	120	5.9	4,094	4,200	106	2.6

(注1) 田辺製薬販売の取扱品

(注2) 他社製品の医薬原体等

⑤ 設備投資予想

(単位:億円)(億円未満四捨五入)

	2007年度 下期実績	2008年度 下期予想	増減額	増減率%	2007年度 通期実績 (単純合算)	2008年度 通期予想	増減額	増減率%
設備投資額/発生ベース	37	59	21	56.5	100	121	21	21.2

<2008年度下期の主な取得予定設備>

田辺三菱製薬	17億円
・研究関係設備	(7億円)
・生産関係設備	(6億円)
・本支店関係設備	(4億円)
関係会社	41億円
・田辺三菱製薬工場設備	(15億円)
・三菱製薬(広州)設備	(11億円)

⑥ 情報システム開発投資予想(無形固定資産)

(単位:億円)(億円未満四捨五入)

	2007年度 下期実績	2008年度 下期予想	増減額	増減率%	2007年度 通期実績 (単純合算)	2008年度 通期予想	増減額	増減率%
システム投資額/発生ベース	7	5	△ 2	△ 26.2	19	12	△ 7	△ 38.3

<2008年度下期の主なシステム投資予定>

田辺三菱製薬	5億円
・研究開発関係システム	(1億円)
・営業関係システム	(1億円)
・生産関係システム	(1億円)
・その他	(2億円)

⑦ 減価償却費予想

(単位:億円)(億円未満四捨五入)

	2007年度 下期実績	2008年度 下期予想	増減額	増減率%	2007年度 通期実績 (単純合算)	2008年度 通期予想	増減額	増減率%
有形固定資産	71	78	7	9.5	133	146	13	9.8
無形固定資産	8	5	△ 2	△ 29.0	18	11	△ 7	△ 38.7

⑧ 四半期業績推移(損益計算書)

(単位:億円)(億円未満四捨五入)

	2007年度(単純合算)					2008年度			
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	下期予想	通期予想
売上高	1,049 25.6%	1,028 25.1%	1,157 28.3%	859 21.0%	4,094 100.0%	1,082 25.8%	981 23.4%	2,137 50.9%	4,200 100.0%
(国内)	(967) (26.0%)	(921) (24.7%)	(1,070) (28.7%)	(763) (20.6%)	(3,721) (100.0%)	(992) (25.9%)	(881) (23.0%)	(1,953) (51.0%)	(3,826) (100.0%)
(海外)	(82) (21.9%)	(107) (28.8%)	(88) (23.5%)	(96) (25.8%)	(373) (100.0%)	(91) (24.2%)	(100) (26.6%)	(184) (49.2%)	(374) (100.0%)
医薬品事業	975 25.7%	952 25.1%	1,084 28.6%	784 20.6%	3,795 100.0%	1,006 25.8%	903 23.1%	1,997 51.1%	3,906 100.0%
(国内)	(909) (25.9%)	(878) (25.0%)	(1,016) (28.9%)	(711) (20.2%)	(3,514) (100.0%)	(937) (25.9%)	(827) (22.8%)	(1,856) (51.3%)	(3,619) (100.0%)
(海外)	(66) (23.5%)	(75) (26.5%)	(68) (24.2%)	(73) (25.8%)	(282) (100.0%)	(69) (24.2%)	(76) (26.6%)	(141) (49.2%)	(287) (100.0%)
その他事業	75 24.9%	76 25.3%	74 24.6%	75 25.2%	299 100.0%	76 26.0%	78 26.5%	140 47.6%	294 100.0%
(国内)	(59) (28.3%)	(43) (20.7%)	(54) (25.9%)	(52) (25.0%)	(208) (100.0%)	(55) (26.6%)	(55) (26.5%)	(97) (46.9%)	(206) (100.0%)
(海外)	(16) (17.1%)	(33) (35.8%)	(20) (21.5%)	(23) (25.5%)	(91) (100.0%)	(21) (24.4%)	(23) (26.4%)	(43) (49.1%)	(87) (100.0%)
売上原価	388	369	426	322	1,505	396	394	826	1,615
売上原価率	37.0%	35.9%	36.8%	37.4%	36.8%	36.6%	40.1%	51.1%	38.5%
販売費及び 一般管理費	443 23.8%	480 25.7%	434 23.3%	508 27.2%	1,864 100.0%	433 23.3%	500 27.0%	922 49.7%	1,855 100.0%
研究開発費	178 24.6%	189 26.1%	162 22.4%	195 26.9%	723 100.0%	163 22.0%	213 28.8%	364 49.2%	740 100.0%
人件費	135 25.4%	137 25.9%	127 23.9%	131 24.8%	530 100.0%	126 25.4%	127 25.7%	242 48.9%	494 100.0%
販売促進費	27 20.3%	44 33.4%	25 18.6%	37 27.7%	133 100.0%	23 19.7%	34 28.8%	61 51.5%	118 100.0%
のれん償却額	0 0.4%	0 0.4%	26 50.2%	25 49.0%	51 100.0%	25 25.1%	25 25.1%	50 49.7%	100 100.0%
その他	103 24.2%	109 25.6%	95 22.2%	120 28.0%	427 100.0%	96 23.9%	101 25.1%	206 51.1%	403 100.0%
営業利益	218 30.1%	180 24.8%	298 41.1%	29 4.0%	725 100.0%	254 34.8%	87 11.9%	389 53.3%	730 100.0%
経常利益	227 30.8%	175 23.8%	307 41.7%	28 3.7%	736 100.0%	259 34.8%	92 12.3%	394 52.8%	745 100.0%
四半期(当期) 純利益	129 40.5%	74 23.3%	172 53.9%	△ 56 △ 17.7%	319 100.0%	146 41.3%	17 4.9%	191 53.9%	355 100.0%

(注)各項目(売上原価を除く)の下段は進捗率を表示

⑨ 四半期業績推移(主要製品売上高)

(単位:億円)(億円未満四捨五入)

	2007年度(単純合算)					2008年度			
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	下期予想	通期予想
医療用医薬品	961	935	1,069	772	3,737	994	887	1,970	3,851
	25.7%	25.0%	28.6%	20.7%	100.0%	25.8%	23.0%	51.2%	100.0%
国内医療用医薬品	865	807	980	667	3,319	880	771	1,720	3,371
	26.1%	24.3%	29.5%	20.1%	100.0%	26.1%	22.9%	51.0%	100.0%
レミケード	63	72	87	63	286	89	89	196	373
	22.0%	25.3%	30.6%	22.1%	100.0%	23.7%	23.8%	52.4%	100.0%
ラジカット	72	74	80	53	279	73	65	149	287
	25.9%	26.4%	28.8%	18.9%	100.0%	25.5%	22.8%	51.7%	100.0%
アンブラーグ	45	47	48	36	176	49	42	95	186
	25.6%	26.5%	27.3%	20.6%	100.0%	26.4%	22.4%	51.2%	100.0%
ウルソ	42	42	47	35	166	43	38	83	164
	25.2%	25.3%	28.3%	21.2%	100.0%	26.1%	23.0%	50.9%	100.0%
セレジスト	41	38	44	30	152	43	38	82	163
	26.8%	24.8%	28.8%	19.6%	100.0%	26.6%	23.4%	50.0%	100.0%
タナトリル	34	30	37	23	124	34	27	58	119
	27.8%	24.0%	29.9%	18.3%	100.0%	28.7%	22.4%	48.9%	100.0%
ヘルベッサー	36	31	38	25	130	33	27	60	120
	27.8%	23.8%	29.4%	19.0%	100.0%	27.5%	22.7%	49.8%	100.0%
デバス	29	29	32	25	115	31	28	60	119
	25.5%	25.3%	27.6%	21.6%	100.0%	26.1%	23.4%	50.6%	100.0%
ヴェノグロブリン-IH	32	31	34	21	118	29	26	55	110
	26.9%	26.3%	28.7%	18.1%	100.0%	26.4%	23.9%	49.7%	100.0%
メインテート	28	25	30	20	102	27	23	50	100
	27.2%	24.1%	29.2%	19.5%	100.0%	27.0%	23.1%	49.9%	100.0%
リプル	23	23	24	19	89	23	20	44	87
	25.6%	25.7%	27.4%	21.3%	100.0%	26.4%	22.5%	51.0%	100.0%
サアミオン	27	23	27	17	95	23	19	40	81
	28.7%	24.6%	28.8%	17.9%	100.0%	28.1%	23.1%	48.8%	100.0%
タリオン	16	15	20	32	83	21	15	67	102
	19.9%	17.6%	24.4%	38.1%	100.0%	20.1%	14.3%	65.6%	100.0%
オメブラゾン	16	17	17	12	62	16	13	30	59
	25.4%	27.1%	27.6%	19.9%	100.0%	26.5%	22.2%	51.3%	100.0%
ノイアート	14	15	18	11	58	14	14	30	58
	24.4%	25.6%	31.1%	18.9%	100.0%	25.0%	23.6%	51.4%	100.0%
テオドール	16	14	19	11	60	15	11	26	52
	26.9%	23.5%	31.6%	18.0%	100.0%	28.0%	21.2%	50.8%	100.0%
ガストローム	15	13	16	10	54	13	10	21	44
	28.0%	24.5%	28.6%	18.9%	100.0%	29.1%	23.5%	47.5%	100.0%
フルカリック	14	13	15	9	51	12	11	22	45
	27.0%	25.8%	29.0%	18.2%	100.0%	25.8%	24.5%	49.7%	100.0%
ノバスタン	7	7	9	6	29	8	7	17	32
	25.3%	25.4%	29.9%	19.4%	100.0%	24.8%	22.3%	52.9%	100.0%
ワクチン	40	28	69	32	169	54	48	104	207
	23.8%	16.6%	40.7%	18.9%	100.0%	26.3%	23.4%	50.2%	100.0%
(内、インフルエンザ)	(△ 1)	(10)	(56)	(2)	(66)	(0)	(14)	(54)	(68)
	(△ 1.3%)	(14.7%)	(83.6%)	(3.0%)	(100.0%)	(△ 0.2%)	(20.1%)	(80.1%)	(100.0%)
(内、ミールビック)	(31)	(13)	(9)	(22)	(76)	(46)	(26)	(38)	(110)
	(41.2%)	(16.9%)	(12.4%)	(29.5%)	(100.0%)	(41.9%)	(23.8%)	(34.3%)	(100.0%)
ジェネリック(注2)	10	9	11	8	37	10	9	23	42
	26.1%	23.1%	29.8%	21.0%	100.0%	23.6%	22.1%	54.3%	100.0%
海外医療用医薬品	58	60	59	60	236	66	68	133	267
	24.4%	25.6%	24.8%	25.2%	100.0%	24.6%	25.7%	49.8%	100.0%
ヘルベッサー	11	13	11	11	46	15	16	30	61
	23.9%	28.7%	24.1%	23.3%	100.0%	24.0%	26.1%	49.8%	100.0%
アルガトロバン (ノバスタン)	8	8	7	10	33	10	10	23	42
	24.1%	23.6%	22.4%	29.9%	100.0%	23.3%	22.8%	53.9%	100.0%
タナトリル	4	7	4	5	20	7	6	10	22
	21.7%	33.7%	19.8%	24.8%	100.0%	29.9%	26.7%	43.3%	100.0%
ワクチン	7	4	3	4	17	5	7	7	18
	39.2%	23.7%	15.5%	21.6%	100.0%	27.7%	35.5%	36.8%	100.0%
製造受託品(注3)	35	54	25	32	146	37	36	106	179
	23.8%	37.2%	17.2%	21.8%	100.0%	20.6%	20.2%	59.2%	100.0%
技術導出契約金等	3	13	5	14	35	11	11	10	33
	8.5%	38.0%	14.1%	39.4%	100.0%	34.4%	34.4%	31.2%	100.0%
一般用医薬品	14	17	15	12	58	13	16	27	56
	23.8%	29.1%	26.2%	20.9%	100.0%	22.7%	28.5%	48.8%	100.0%
医薬品事業	975	952	1,084	784	3,795	1,006	903	1,997	3,906
	25.7%	25.1%	28.6%	20.6%	100.0%	25.8%	23.1%	51.1%	100.0%
その他事業	75	76	74	75	299	76	78	140	294
	24.9%	25.3%	24.6%	25.2%	100.0%	26.0%	26.5%	47.6%	100.0%
売上高合計	1,049	1,028	1,157	859	4,094	1,082	981	2,137	4,200
	25.6%	25.1%	28.3%	21.0%	100.0%	25.8%	23.4%	50.9%	100.0%

(注1)各項目の下段は進捗率を表示

(注2)田辺製薬販売の取扱品

(注3)他社製品の医薬原体等

⑩ 当初予想との比較

(単位:億円)(億円未満四捨五入)

	上期			下期			通期		
	当初予想	実績	増減率%	当初予想	修正予想	増減率%	当初予想	修正予想	増減率%
売上高	2,060	2,063	0.2	2,190	2,137	△ 2.4	4,250	4,200	△ 1.2
医薬品事業	1,912	1,910	△ 0.1	2,044	1,997	△ 2.3	3,956	3,906	△ 1.3
医療用医薬品	1,886	1,881	△ 0.3	2,013	1,970	△ 2.2	3,899	3,851	△ 1.2
国内医療用医薬品	1,635	1,651	1.0	1,757	1,720	△ 2.1	3,391	3,371	△ 0.6
レミケード	167	177	6.3	190	196	3.2	357	373	4.6
ラジカット	144	139	△ 3.7	149	149	△ 0.4	293	287	△ 2.0
アンブラーグ	98	91	△ 7.6	104	95	△ 8.6	202	186	△ 8.1
ウルソ	89	80	△ 9.6	91	83	△ 9.0	180	164	△ 9.3
セレジスト	77	82	5.8	76	82	7.1	153	163	6.5
タナトリル	64	61	△ 4.9	62	58	△ 6.6	126	119	△ 5.7
ヘルベッサー	61	60	△ 1.0	60	60	△ 0.2	120	120	△ 0.6
デパス	61	59	△ 3.5	62	60	△ 1.7	123	119	△ 2.6
ヴェノグロブリン-IH	60	56	△ 7.0	62	55	△ 11.7	122	110	△ 9.4
メインテート	50	50	0.4	51	50	△ 1.8	101	100	△ 0.7
リブル	43	43	△ 0.5	44	44	1.7	87	87	0.6
サアミオン	44	42	△ 5.7	42	40	△ 4.8	86	81	△ 5.3
タリオン	38	35	△ 8.4	70	67	△ 3.5	108	102	△ 5.3
オメプラゾン	31	28	△ 8.6	33	30	△ 9.2	64	59	△ 8.9
ノイアート	27	28	2.7	28	30	5.3	55	58	4.0
テオドール	22	26	15.1	22	26	21.0	44	52	18.0
ガストローム	25	23	△ 8.6	25	21	△ 15.7	50	44	△ 12.1
フルカリック	25	23	△ 9.0	25	22	△ 8.8	49	45	△ 8.9
ノバスタン	14	15	4.1	19	17	△ 13.0	34	32	△ 5.7
ワクチン	65	103	59.1	98	104	5.5	163	207	26.8
(内、インフルエンザ)	(6)	(14)	(139.9)	(55)	(54)	(△ 1.9)	(61)	(68)	(11.2)
(内、ミールピック)	(47)	(72)	(51.8)	(34)	(38)	(10.4)	(82)	(110)	(34.5)
ジェネリック(注2)	23	19	△ 16.2	35	23	△ 34.7	59	42	△ 27.4
海外医療用医薬品	126	134	6.5	138	133	△ 3.4	263	267	1.3
ヘルベッサー	30	31	1.6	30	30	0.9	60	61	1.3
アルガトロバン (ノバスタン)	21	20	△ 5.7	22	23	5.9	42	42	0.2
タナトリル	9	13	33.4	10	10	△ 8.1	20	22	11.6
ワクチン	8	12	41.3	11	7	△ 39.4	19	18	△ 5.2
製造受託品(注3)	70	73	5.1	107	106	△ 0.3	176	179	1.8
技術導出契約金等	56	23	△ 59.3	12	10	△ 13.9	68	33	△ 51.3
一般用医薬品	26	29	10.0	31	27	△ 12.0	57	56	△ 2.0
その他事業	148	154	4.0	146	140	△ 4.4	294	294	△ 0.2
売上原価	745	789	6.0	845	826	△ 2.3	1,590	1,615	1.6
売上原価率	36.2%	38.3%		38.6%	38.6%		37.4%	38.5%	
販売費及び一般管理費	980	933	△ 4.8	930	922	△ 0.9	1,910	1,855	△ 2.9
研究開発費	395	376	△ 4.8	380	364	△ 4.3	775	740	△ 4.5
人件費	250	252	1.0	234	242	3.2	484	494	2.1
販売促進費	74	57	△ 22.7	70	61	△ 13.2	144	118	△ 18.1
のれん償却額	50	50	0.5	50	50	△ 0.5	100	100	0.0
その他	211	197	△ 6.6	196	206	5.0	407	403	△ 1.0
営業利益	335	341	1.7	415	389	△ 6.2	750	730	△ 2.7
経常利益	340	351	3.4	420	394	△ 6.3	760	745	△ 2.0
当期純利益	150	164	9.2	240	191	△ 20.3	390	355	△ 9.0

(注1) 当初予想: 2008年5月7日 2007年度決算発表時の公表数値

(注2) 田辺製薬販売の取扱品

(注3) 他社製品の医薬原体等

<参考> 制度会計上の比較

① 2007年度上期 損益実績

(単位:百万円)

	2007年度 上期(注1)	2008年度 上期	増減額	増減率%
売上高	93,791	206,339	112,548	120.0
営業利益	18,444	34,075	15,631	84.7
経常利益	19,232	35,140	15,908	82.7
四半期純利益	9,939	16,381	6,442	64.8
1株当たり 四半期純利益	40.58円	29.19円	△ 11.39円	△ 28.1

(注1)2007年度上期実績=田辺製薬上期実績

② 2008年度 損益予想

(単位:億円)(億円未満四捨五入)

	2007年度 実績(注2)	2008年度 予想	増減額	増減率%
売上高	3,156	4,200	1,044	33.1
売上原価	1,134	1,615	481	42.4
販管費	1,482	1,855	373	25.1
営業利益	540	730	190	35.1
経常利益	544	745	201	36.9
当期純利益	220	355	135	61.4
1株当たり 当期純利益	50.12円	63.26円	13.14円	26.2

(注2) 2007年度実績=三菱ウェルファーマ上期実績+田辺三菱製薬下期実績

IV. 新製品開発状況について（2008年10月30日現在）

1. 国内開発状況

① 新規化合物

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予想適応症など)	開発段階	起源	備考
TA-8317/アレフ (フェンタニルクエン酸塩)	麻薬鎮痛剤 (癌性突出痛・口腔粘膜吸収剤)	申請中 (2008年8月)	米:セファロン	
MCC-847	ロイコトリエンD4受容体拮抗剤 (気管支喘息) (アレルギー性鼻炎)	フェーズ 3 フェーズ 2	英:アストラゼネカ	
APTA-2217 (ロフルミラスト)	PDE4阻害剤 (気管支喘息) (COPD)	フェーズ 2/3 フェーズ 2/3	スイス:ナイコメッド	共同開発 (スイス:ナイコメッド)
CNT0148 (ゴリムマブ)	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤 (関節リウマチ)	フェーズ 2/3	米:セントコア	共同開発 (ヤンセンファーマ)
FTY720 (フィンゴリモド塩酸塩)	スフィンゴシン1リン酸受容体作動剤 (多発性硬化症)	フェーズ 2	自社	共同開発 (ノバルティスファーマ) (三井製糖)
MP-513	DPP4阻害剤 (2型糖尿病)	フェーズ 2	自社	
MP-424 (テラプレビル)	NS3-4Aプロテアーゼ阻害剤 (C型慢性肝炎)	フェーズ 2	米:ヴァーテックス	
MP-214 (カリプラジン)	D3/D2拮抗剤 (統合失調症)	フェーズ 2	ハンガリー: ゲデオンリヒター	
MP-435	C5a拮抗剤 (関節リウマチ)	フェーズ 1	自社	
TA-6666	DPP4阻害剤 (2型糖尿病)	フェーズ 1	自社	
TA-7284	SGLT2阻害剤 (糖尿病)	フェーズ 1	自社	

② 効能追加

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予想適応症など)	開発段階	起源	備考
ノイアート (乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ)	血液凝固阻止剤 (妊娠中毒症)	申請中 (1995年12月)	自社	共同開発 (CSL ベーリング)
レミケード (インフリキシマブ〔遺伝子組換え〕)	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤	申請中 (2007年9月)	米:セントコア	
	(関節リウマチ:用法・用量の変更)	申請中 (2008年2月)		
	(乾癬)	申請中 (2008年9月)		
	(強直性脊椎炎*)	フェーズ 3		
	(潰瘍性大腸炎)	フェーズ 3		
献血ヴェノグロブリン-IH (ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン)	ヒト免疫グロブリンG	申請中 (1997年12月)	自社	
	(免疫グロブリンG2欠乏症)	申請中 (2003年5月)		
	(多発性筋炎・皮膚筋炎*)	申請中 (2008年3月)		
	(低・無ガンマグロブリン血症:用量の追加)	フェーズ 3		
	(全身性強皮症)	フェーズ 3		
モディオダール (モダフィニル)	精神神経用剤 (閉塞性睡眠時無呼吸症候群)	申請中 (2008年5月)	米:セファロン	共同開発 (アルプレッサファーマ)
バリキサ (バルガンシクロビル)	抗ウイルス剤 (移植後サイトメガロウイルス感染)	申請中 (2008年6月)	スイス:ロシュ	
セレジスト (タルチレリン水和物)	脊髄小脳変性症治療剤 (口腔内崩壊錠:剤型の追加)	申請中 (2008年7月)	自社	
アンブラーグ (塩酸サルボグレラート)	5HT ₂ 受容体拮抗剤 (脳梗塞再発予防)	フェーズ 3	自社	
ラジカット (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症*)	フェーズ 3	自社	
メインテート (ビソプロロール)	選択的 β 1遮断剤 (慢性心不全)	フェーズ 3	独:メルク	
バズクロス (メシル酸バズフロキサシン)	ニューキノロン系合成抗菌製剤 (重症難治症例:用量の追加) (敗血症・肺炎球菌)	フェーズ 3	富山化学工業	共同開発 (富山化学工業)
コレバイン (コレスチミド(JAN))	糖尿病改善作用 (2型糖尿病)	フェーズ 2	自社	
	リン吸収阻害作用 (高リン血症)	フェーズ 1		

*: 希少疾病用医薬品指定

2. 海外開発状況

① 新規化合物

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予想適応症など)	地域	開発段階	起源	備考
MP-146	尿毒症毒素吸着剤 (慢性腎臓病)	米国、欧州	フェーズ 3	クレハ	
MCI-196 (コレステラン(INN))	リン吸収阻害剤 (高リン血症)	米国、欧州	フェーズ 3	自社	
TA-6666	DPP4阻害剤 (2型糖尿病)	米国	フェーズ 2	自社	
TA-5538	NK-1拮抗剤 (過活動膀胱)	欧州	フェーズ 2	自社	
MCC-135 (カルダレット)	心筋内カルシウム調節剤 (心筋梗塞)	米国、欧州	フェーズ 2	自社	
MCC-257	神経栄養因子賦活剤 (糖尿病性神経障害)	米国	フェーズ 2	自社	
CTA018	ビタミンD誘導体 (二次性副甲状腺機能亢進症)	カナダ	フェーズ 2	カナダ: サイトクロマ	
TA-5493	p38阻害剤 (関節リウマチ、乾癬)	欧州	フェーズ 1	自社	
MCI-186 (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (脳梗塞急性期)	欧州	フェーズ 1	自社	
MP-513	DPP4阻害剤 (2型糖尿病)	米国、欧州	フェーズ 1	自社	
GB-1057 (人血清アルブミン〔遺伝子組換え〕)	遺伝子組換えヒト血清アルブミン (安定化剤)	米国	フェーズ 1	自社	
TA-8995	CETP阻害剤 (脂質異常症)	欧州	フェーズ 1	自社	

② 効能追加

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予想適応症など)	地域	開発段階	起源	備考
MCI-9038 (アルガトロバン)	抗トロンピン剤 (ヘパリン起因性血小板減少症(HIT))	欧州	申請準備中	自社	
	(HIT患者での経皮的冠動脈インターベンション(PCI))	欧州	フェーズ 3		

3. 導出品の開発状況

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予想適応症など)	地域	開発段階	導出先
FTY720 (フィンゴリモド塩酸塩)	スフィンゴシン1リン酸受容体作動剤 (多発性硬化症)	米国、欧州	フェーズ 3	スイス:ノバルティスファーマ
MKC-242	セロトニン1A作動剤 (不眠症)	米国	フェーズ 2	米:メディシノバ
MCF-225	ノルアドレナリン取込み阻害+セロトニン3阻害剤 (下痢型過敏性腸症候群)	米国	フェーズ 2	米:ダイノジェン
MKC-733	セロトニン3作動剤 (便秘型過敏性腸症候群)	米国	フェーズ 2	米:ダイノジェン
	(夜間性胃食道逆流症)	米国	フェーズ 1	
TA-1790 (アバナフィル)	PDE5阻害剤 (勃起不全)	米国	フェーズ 2	米:ヴィーヴァス
		韓国	フェーズ 2	韓:チョンウェイ
TA-2005 (カルモテロール)	長時間作用性 β 2刺激剤 (喘息、COPD)	欧州	フェーズ 2	伊:キエージー
T-0047 (フィラテグラスト)	細胞接着阻害剤[α 4 β 7/ α 4 β 1阻害剤] (多発性硬化症)	欧州	フェーズ 2	英:グラクソ・スミスクライン
MKC-231	神経新生促進剤 (うつ病/不安障害)	米国	フェーズ 2	米:ブレインセルズ
TA-7284	SGLT2阻害剤 (糖尿病、肥満)	欧州、米国	フェーズ 2	米:ジョンソン・エンド・ジョンソン
Y-39983	ROCK阻害剤 (緑内障)	日本	フェーズ 2	日:千寿製薬
T-0128	I型DNAトポイソメラーゼ阻害剤 [DDS製剤:カンプトテシン誘導体] (悪性腫瘍)	欧州	フェーズ 1	伊:メナリーニ
sTU-199 (テナトプラゾール)	プロトンポンプ阻害剤 (胃食道逆流症)	欧州	フェーズ 1	仏:ネグマ(シデム)
MP-412	チロシンキナーゼ阻害剤 (悪性腫瘍)	米国	フェーズ 1	米:アヴェオ
TT-138	β 3作動剤 (頻尿/尿失禁)	米国	フェーズ 1	米:メディシノバ

4. 2008年度第1四半期決算発表時点（2008年7月30日）からの変更点

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予想適応症など)	前回発表時点	2008年10月30日現在
TA-8317 (フェンタニルクエン酸塩)	麻薬鎮痛剤 (癌性突出痛・口腔粘膜吸収剤)	国内フェーズ3	国内申請中
レミケード (インフリキシマブ〔遺伝子組換え〕)	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤 (強直性脊椎炎*)	国内フェーズ3	国内申請中
CTA018	ビタミンD誘導体 (二次性副甲状腺機能亢進症)	記載なし	海外フェーズ2
MCC-555 (ネトグリタゾン)	PPARガンマ作動剤 (2型糖尿病)	海外フェーズ1 (導出品)	削除 (導出契約終結、米:ノバーレジェン)

*: 希少疾病用医薬品指定

5. 新製品開発状況補足資料（2008年10月30日現在）

① 国内 新規化合物

TA-8317 アクレフ	フェンタニルを口腔内の粘膜から速やかに吸収させることにより、癌に伴う突発性の疼痛に対して鎮痛効果を示す頓用剤。欧米では既に市販されている。セファロン(米)より導入。2008年8月申請。
MCC-847	ロイコトリエンD4受容体拮抗作用を有する経口呼吸器疾患治療剤。喘息でフェーズ 3、アレルギー性鼻炎でフェーズ 2。
APTA-2217	優れた抗炎症作用を有する、経口投与可能な呼吸器疾患治療剤。海外臨床試験で喘息とCOPD(慢性閉塞性肺疾患)の両方に対して有効性が認められている。ナイコメッド(スイス)より導入。喘息でフェーズ 2/3、COPDでフェーズ 2/3。
CNTO148	抗TNF α モノクローナル抗体。セントコア(米)より導入。皮下注射剤の関節リウマチ治療薬として、ヤンセンファーマ(株)と共同でフェーズ 2/3。
FTY720	スフィンゴシン-1-リン酸受容体モジュレーターで、海外ではノバルティス(スイス)により、多発性硬化症を対象にフェーズ 3。国内ではノバルティスファーマ、三井製糖と共同で多発性硬化症を対象にフェーズ 2。
MP-513	DPP4酵素阻害により、食事摂取後のインスリン分泌を促進し、空腹時のインスリン分泌を促進しない、2型糖尿病治療剤。フェーズ 2。
MP-424	C型肝炎ウイルスのプロテアーゼNS3/4A阻害による経口投与可能なC型慢性肝疾患治療剤。ヴァーテックス(米)より導入。フェーズ 2。
MP-214	ドパミンD3/D2受容体拮抗作用を有する。ゲデオンリヒター(ハンガリー)より導入。統合失調症を対象にフェーズ 2。
MP-435	補体成分C5a受容体拮抗作用を有する経口の免疫調節剤。関節リウマチ治療を対象にフェーズ 1。
TA-6666	DPP4酵素阻害により、食事摂取後のインスリン分泌を促進し、空腹時のインスリン分泌を促進しない、2型糖尿病治療剤。フェーズ 1。
TA-7284	SGLT2選択的阻害剤。腎臓における糖再吸収を阻害して血糖値を低下させる。糖尿病でフェーズ 1。

② 国内 効能追加

ノイアート	(妊娠中毒症)申請中。
レミケード	(関節リウマチ:用法・用量の変更)メトレキサートで効果不十分な関節リウマチ患者を対象に、レミケードの増量効果を確認するためのフェーズ 3を実施し、2007年9月申請。 (乾癬)欧米で実施された検証的試験で尋常性乾癬、乾癬性関節炎に対し、レミケードが有用であることが確認され、欧米で承認済み。国内においても乾癬患者を対象に2008年2月申請。 (強直性脊椎炎)欧米で実施された検証的試験で強直性脊椎炎に対し、レミケードが有用であることが確認され、欧米で承認済み。2008年6月希少疾病用医薬品指定。2008年9月申請。 (潰瘍性大腸炎)欧米で実施された検証的試験で潰瘍性大腸炎にもレミケードが有用であることが確認され、欧米で承認済み。国内においても潰瘍性大腸炎患者を対象にフェーズ 3。
献血ヴェノグロブリン-IH	(免疫グロブリンG2欠乏症)申請中。 (多発性筋炎・皮膚筋炎[希少疾病用医薬品指定])申請中。当局の指示により、ステロイド治療抵抗性の多発性筋炎・皮膚筋炎患者に対するヴェノグロブリンの有効性を確認するための追加臨床試験実施中。 (低・無ガンマグロブリン血症:用量追加) 日本感染症学会からの要望書を受け、適応外通知に基づき申請中。 (びまん型全身性強皮症)国内の臨床研究によって疾患の主要因である皮膚症状の改善に対してIVIGの有効性が見出され、海外においても有効性が報告されている。フェーズ 3。 (重症筋無力症)国内において血液浄化療法群を対照としたフェーズ 3。
モディオダール	(閉塞性睡眠時無呼吸症候群)2008年5月に共同開発会社のアルフレッサファーマが申請。
バリキサ	(移植後のサイトメガロウイルス感染)2008年6月申請。
セレジスト	(口腔内崩壊錠:剤型の追加)2008年7月申請。
アンブラーグ	(脳梗塞再発予防)フェーズ 3。
ラジカット	(筋萎縮性側索硬化症[希少疾病用医薬品指定])フェーズ 3。
メインテート	(慢性心不全)欧州で実施された大規模臨床試験(CIBIS II試験)でNYHA III~IV度の慢性心不全患者の延命効果が高めることが明らかにされた。国内では慢性心不全の効能追加のための臨床試験を実施し、2006年4月に申請した。その後当局との相談の結果、追加データ取得を目指して検討中。
コレバイン	(2型糖尿病)フェーズ 2。 (高リン血症)フェーズ 1。

③ 海外 新規化合物

MP-146	2006年11月にクレハ社から導入した経口の球状吸着炭。慢性腎臓病患者対象に欧州、北米、南米においてフェーズ 3。日本では製品名クレメジン®で他社が販売。
MCI-196 (コレステラン (INN))	陰イオン交換樹脂。欧米で腎透析患者における高リン血症を対象にフェーズ 3。日本では、高コレステロール血症治療薬として製品名コレバイン®で販売中。
TA-6666	DPP4酵素阻害により、食事摂取後のインスリン分泌を促進し、空腹時のインスリン分泌を促進しない、2型糖尿病治療剤。米国でフェーズ 2。
TA-5538	選択的NK-1(サブスタンスP)受容体拮抗剤。過活動膀胱を対象に欧州でフェーズ 2。
MCC-135 (カルダレット)	急性心筋梗塞患者における虚血再灌流後の心筋細胞内Ca動態を改善することにより、心機能、及び予後の改善治療剤。欧米でフェーズ 2。
MCC-257	神経栄養因子の分泌促進及び作用増強による糖尿病性神経障害治療薬。米国でフェーズ 2。
CTA018	2008年7月にサイトクローマ社から導入。ビタミンDシグナル伝達を強力に活性化すると同時に、ビタミンDの不活性化をつかさどる酵素CYP24の阻害作用をあわせもつ新しいタイプのビタミンD誘導体。カナダにおいて慢性腎不全患者を対象に二次性副甲状腺機能亢進症でフェーズ 2。
TA-5493	p38 MAP キナーゼ阻害作用により、TNF α などの種々のサイトカイン産生を抑制し、抗炎症作用を示す。欧州で関節リウマチ、乾癬を対象にフェーズ 1。
MCI-186 (エダラボン)	世界初の脳保護剤(フリーラジカル消去剤)。脳梗塞急性期を対象に欧州でフェーズ 1。 日本では製品名ラジカット®で販売中。
MP-513	DPP4酵素阻害により、食事摂取後のインスリン分泌を促進し、空腹時のインスリン分泌を促進しない、2型糖尿病治療剤。欧米でフェーズ 1。
GB-1057	遺伝子組換えヒト血清アルブミン。米国で安定化剤でフェーズ 1。
TA-8995	CETP阻害により、HDL-Cを増加させLDL-Cを低下させる脂質異常症治療剤。欧州でフェーズ 1。

④ 海外 効能追加

MCI-9038 (アルガトロバン)	(ヘパリン起因性血小板減少症(HIT))ドイツ、オーストリア、スウェーデン、デンマーク、ノルウェイ、オランダ、アイスランド、イタリアの8カ国で承認取得。欧州の他国への申請を準備中。
	(HIT患者での経皮的冠動脈インターベンション(PCI))欧州でフェーズ 3。

⑤ 導出品

FTY720	スフィンゴシン1リン酸受容体に作用することにより、リンパ球をリンパ組織に留まらせる。導出先のノバルティスファーマが欧米を中心に多発性硬化症の患者を対象にフェーズ 3。
MKC-242	セロトニン1A受容体の作動薬で、依存性が生じる可能性が低く即効性が期待される不安症やうつ病などの精神障害治療剤。米国メディシノバで不眠症のフェーズ 2。
MCI-225	ノルアドレナリン取込み阻害とセロトニン3受容体拮抗作用を持った薬剤で、現在ダイノジェンが米国で下痢性過敏性腸症候群の患者を対象にフェーズ 2。
MKC-733	セロトニン3受容体作動作用を持つ消化管運動調節薬で、ダイノジェンが、米国で便秘型過敏性腸症候群の患者でフェーズ 2、夜間性胃食道逆流症を対象としたフェーズ 1。
TA-1790	即効性で、副作用の少ない勃起障害治療剤として創製。米国でヴィーヴアスによりフェーズ 2。韓国でチョンウェイによりフェーズ 2。
TA-2005	喘息とCOPD(慢性閉塞性肺疾患)の治療用薬で、選択的、早期作用性、長時間作用性β2刺激剤。欧州でキエージーによりフェーズ 2。
T-0047	白血球が炎症部位に浸潤する過程を抑える細胞接着阻害剤。同じα4インテグリン受容体をターゲットとするモノクローナル抗体である多発性硬化症治療剤生物製剤「タイサプリ(一般名ナタリツマブ)」(バイオジェンアイデックおよびエラン)の使用患者さんによる有害事象により、米国食品医薬品局(FDA)が予防的な手段として臨床試験を中断していたが、2006年にタイサプリの販売再開が承認された。T-0047の臨床試験はグラクソ・スミスクラインによって欧州ほかでフェーズ 2を再開した。
MKC-231	神経新生促進剤。ブレインセルズ(米)でうつ病のフェーズ 2。
TA-7284	SGLT2選択的阻害薬。腎臓における糖再吸収を阻害して血糖値を低下させる。ジョンソン・エンド・ジョンソンにより欧州・米国で糖尿病、肥満を対象にフェーズ 2。
Y-39983	血管平滑筋を弛緩させるROCK(Rho-キナーゼ)阻害作用をもつ薬剤。現在国内で千寿製薬によりフェーズ 2。
T-0128	新規カンプトテシン誘導体(活性本体)に高分子輸送体を結合させたプロドラッグ。効率的に腫瘍組織に到達させるDDS技術を利用した抗癌剤。欧州でメナリーニによりフェーズ 1。
sTU-199	国内で開発していたTU-199の光学異性体で、ネグマ(仏)へ導出。欧米で実施されたフェーズ1試験のPK/PDにおいて、長い血中濃度半減期より1日1回投与で夜間に於ける優れた胃酸コントロールが確認され、早期の症状改善や治癒が期待されている。子会社のシテムが胃食道逆流症を対象に、欧州でフェーズ 1。
MP-412	同クラスの抗癌剤の中でも、固形癌に対しより高い効果が期待される。米国でアヴェオによりフェーズ 1。
TT-138	β3受容体作動作用を持つ頻尿・尿失禁治療剤。米国でメディシノバによりフェーズ 1。

<参考> 主要医療用医薬品の解説

ラジカット (2001年6月発売) 【薬効】フリーラジカルスカベンジャー (脳保護剤)

我が国で開発された世界初の脳保護剤 (フリーラジカルスカベンジャー) であり、脳梗塞急性期の患者における神経症候、日常生活動作障害、機能障害 (退院時の後遺症の程度) を改善する。脳梗塞の3つの主要病型 (ラクナ梗塞、アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓症) いずれにも適応がある。発症後24時間以内に投与を開始し、投与期間は14日以内。

レミケード (2002年5月発売) 【薬効】抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 (関節リウマチ、活動期クローン病、ベーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎)

炎症性サイトカインであるTNF α をターゲットとした抗TNF α 抗体で、早く強力な効果と、1回の投与で2カ月間効果が持続するという点が特長である。関節リウマチでは、関節破壊を抑制することが確認されている。2007年1月にベーチェット病による難治性ぶどう膜炎の効能が追加され、同年11月にクローン病に対する維持療法が承認された。
オリジン: (米) セントコア

アンプラグ (1993年10月発売) 【薬効】5-HT₂ブロッカー (抗血小板剤)

閉塞性動脈硬化症 (ASO) など慢性動脈閉塞症に対する治療薬 (経口抗血小板薬) である。セロトニンにより増強される血小板凝集、血管収縮、血管平滑筋細胞増殖を抑制することにより慢性動脈閉塞症に伴う潰瘍、疼痛、冷感等の虚血性諸症状を改善する。特に側副血行路の血流を改善する。2007年8月に高齢者にも服用しやすい小型化錠が承認された。

ウルソ (1962年7月発売) 【薬効】肝・胆・消化機能改善剤

本剤の主成分ウルソデオキシコール酸 (UDCA) は、古くから消化器症状の改善に用いられてきた熊胆 (クマノイ) が薬効の起源であり、ヒト生体内に存在する胆汁酸の一つである。本剤は肝細胞を保護する作用をもち、慢性肝疾患・C型慢性肝疾患における肝機能の改善、胆石の溶解等の効能をもつ。

ヘルベッサ (1974年2月発売) 【薬効】カルシウム拮抗剤 (狭心症・高血圧症治療剤)

世界110カ国以上で使用されている代表的なカルシウム拮抗剤。血圧降下作用に加え、心拍数を抑えて心臓の負担を軽減し、冠血管拡張作用により酸素供給を増加させる。狭心症や高血圧症において心臓をやさしく保護する効果がある。

セレジスト (2000年9月発売) 【薬効】脊髄小脳変性症治療剤

脊髄小脳変性症による運動失調に対し、甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン (TRH) が有効であることは既に確認されていたが、これまでは注射剤のみであった。自社技術によりTRHを誘導体化し、経口投与を世界で初めて可能にした。

タナトリル (1993年12月発売) 【薬効】アンジオテンシン変換選択性阻害剤 (高血圧症治療剤)

確実な血圧降下作用および高い臓器保護作用を有しながら、この種の薬剤に一般的な副作用である空咳の発生頻度が少ない。2002年には日本で初めて1型糖尿病に伴う糖尿病性腎症への効能を追加した。

ヴェノグロブリン-IH (1992年1月発売) 【薬効】血漿分画製剤 (液状・静注用免疫グロブリン製剤)

国内の献血血液を原料として製造された人免疫グロブリン製剤。免疫グロブリンの持つ4つの作用 (オプソニン作用、毒素やウイルスの中和作用、免疫溶菌作用、抗体依存性細胞傷害) により、抗菌薬と併用することで重症感染症に対する効果を発揮する。

デパス (1984年3月発売) 【薬効】精神安定剤

国内で最も汎用される抗不安薬。強力な抗不安作用に筋緊張緩解作用、鎮静・催眠作用を併せ持つため、心身症、神経症だけでなく、腰痛症、頸椎症、筋収縮性頭痛、うつ病ならびに睡眠障害にも効果が認められている。

メインテート (1990年11月発売) 【薬効】選択的 β_1 遮断剤 (高血圧症・狭心症・不整脈治療剤)

世界85カ国以上で使用されている代表的な β_1 遮断剤。極めて高い β_1 選択性と良好な薬物動態を示し、高い有効性と安全性とともにエビデンスに基づいた心保護効果を有する。

オリジン: (独) メルクKG a A

サアミオン (1988年6月発売) 【薬効】脳循環・代謝改善剤

脳循環・代謝改善作用を有する薬剤。脳梗塞後遺症の治療薬として処方されている。1998年に厚生省によって行われた再評価において、有用性が再確認されている。また、「脳卒中治療ガイドライン2004」において、脳梗塞慢性期の治療薬として推奨されている。

オリジン: (米) ファイザー

<参考> 主要医療用医薬品の解説

リプル (1988年11月発売) 【薬効】プロスタグランジンE1製剤

世界初の静注用プロスタグランジンE1のDDS (ドラッグ・デリバリー・システム) 製剤。血管に直接作用し拡張させることにより慢性動脈閉塞症、糖尿病における皮膚潰瘍等の末梢循環障害を改善する。DDS化によりPGE1の治療上の有用性を最大に引き出し、投与時のデメリットを最小化することに成功した。

タリオン (2000年10月発売) 【薬効】アレルギー性疾患治療剤

抗ヒスタミンH₁作用の発現が早くみられ、アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒に即効性を発揮。一方で、眠気の発現頻度が低い。2007年3月に口腔内崩壊錠の剤形追加が承認され、7月に発売した。

オリジン：宇部興産 開発：共同

オメプラゾン (1991年4月発売) 【薬効】プロトンポンプインヒビター (消化性潰瘍、胃食道逆流症治療剤)

胃酸分泌の最終過程であるプロトンポンプの働きを阻害することにより、強力かつ持続的に胃酸分泌を抑制する。世界初のプロトンポンプインヒビターである。消化性潰瘍、十二指腸潰瘍、胃食道逆流症に優れた効果をもつ。さらに、2007年5月に非びらん性胃食道逆流症が、8月にヘリコバクターピロリの二次除菌療法に係る用法用量追加が承認された。オリジン：(英) アストラゼネカ

ガストローム (1993年12月発売) 【薬効】胃炎・胃潰瘍治療剤

服用後ほとんど吸収されず、胃粘膜を直接覆って保護する薬剤。重大な副作用や他剤との相互作用がない。胃炎では単剤でH₂ブロッカーと同等の効果を示す。胃潰瘍ではH₂ブロッカーとの併用で治癒率を向上させるというエビデンスが、2007年4月に胃潰瘍診療ガイドラインに反映され、H₂ブロッカーとの併用剤として推奨された。

テオドール (1984年4月発売) キサンチン系気管支拡張剤

気管支拡張剤として気管支喘息、COPD (慢性閉塞性肺疾患) に広く用いられる。成分のテオフィリンには気管支拡張作用と抗炎症作用を含め多彩な薬理作用を発揮することが知られており、我が国の喘息治療ガイドラインにおいて使用が推奨されている。またその他の喘息治療薬と比べて薬価が安いことからコスト・ベネフィットに優れている。

ノイアート (1987年6月発売) 【薬効】血漿分画製剤 (血液凝固阻止剤)

国内の献血血液を原料とした人アンチトロンビンⅢ製剤。人アンチトロンビンⅢを高純度に含有するDIC治療剤である。トロンビンをはじめ幅広くセリンプロテアーゼ活性を阻害することにより強力な抗凝固作用を発揮する。

フルカリック (2003年1月発売) 【薬効】ビタミン添加高カロリー輸液

3室構造の輸液バッグを実現し、世界ではじめて糖・アミノ酸・電解質液に総合ビタミン剤を配合させた高カロリー輸液剤。ビタミン剤の入れ忘れの防止とともに、混注作業を不要とし、安全性と利便性を向上させた。

開発：テルモとの共同

ノバスタン (1990年6月発売) 【薬効】選択的抗トロンビン剤

化学合成された選択的抗トロンビン剤。1990年6月に上市され、「慢性動脈閉塞症における四肢潰瘍、安静時疼痛ならびに冷感の改善」、「脳血栓症急性期に伴う神経症候、日常生活動作の改善」、「先天性アンチトロンビンⅢ (ATⅢ) 欠乏患者における血液体外循環時の灌流血液の凝固防止」に使用されている。2008年7月に「ヘパリン起因性血小板減少症 (HIT) Ⅱ型における血栓症の発症抑制」についても効能を取得した。海外では、2000年に米国FDAにより「ヘパリン起因性血小板減少症 (HIT) における血栓症の予防及び治療」の効能・効果が承認され、以来、海外9カ国において同効能・効果で承認されている。

ミールビック (2005年12月発売) 【薬効】麻しんおよび風しんの予防

麻しんと風しんの予防接種が同時に行え、接種者の負担が軽減できる乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン。麻しんおよび風しんの予防接種率の向上が期待される。

製造：阪大微生物病研究会

V. その他

1. 株式の状況

① 発行済株式数

	2008年9月末	2008年3月末
期末発行済株式総数	561,417,916	561,417,916
期末自己株式数	226,181	202,957
期末発行済株式数	561,191,735	561,214,959
期中平均自己株式数	212,987	100,832
期中平均株式数	561,204,929	438,768,161

② 配当金推移

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度(注)	2008年度2Q末	2008年度(予想)
1株当たり年間配当金(円)	17	20	24	26	14	28
配当性向(%)	26.7	32.0	29.1	33.2	36.7	34.5

(注) 2007年度の配当金は、田辺製薬の中間配当金(13円)と田辺三菱製薬の期末配当予定額(13円)を用いている。また、配当性向は田辺三菱製薬の下期の当期純利益からのれん償却額およびHCV訴訟損失引当金繰入額を除いた利益と期末配当予定額から算出している。

③ 大株主の状況

順位	株主名	2008年9月末		2008年3月末		
		持株数 千株	持株比率	(順位)	持株数 千株	持株比率
1	三菱ケミカルホールディングス	316,320	56.34%	(1)	316,320	56.34%
2	日本マスタートラスト信託銀行	26,323	4.69%	(2)	22,007	3.92%
3	日本トラスティ・サービス信託銀行	19,334	3.44%	(4)	12,122	2.16%
4	日本生命保険	16,085	2.87%	(3)	15,875	2.83%
5	三菱東京UFJ銀行	12,089	2.15%	(5)	12,089	2.15%
6	ザチェースマンハッタンバンク エヌエイロンドンエスエルオムニバス アカウント	10,389	1.85%	(6)	9,993	1.78%
7	ニプロ	8,030	1.43%	(7)	8,030	1.43%
8	東京海上日動火災保険	5,218	0.93%	(8)	5,218	0.93%
9	資産管理サービス信託銀行	4,635	0.83%	(11)	4,148	0.74%
10	みずほコーポレート銀行	4,333	0.77%	(10)	4,333	0.77%

④ 所有者別株式数分布状況

	2008年9月末			2008年3月末		
	株主数 名	株式数 千株	構成比	株主数 名	株式数 千株	構成比
金融機関	78	107,270	19.14%	78	99,619	17.78%
外国法人等	346	82,116	14.65%	350	88,521	15.80%
個人・その他	10,019	28,376	5.06%	10,693	29,770	5.31%
その他の法人	235	341,040	60.85%	238	341,008	60.85%
金融商品取引業者	34	1,638	0.29%	37	1,508	0.27%
合計	10,712	560,440	100.00%	11,396	560,426	100.00%
単元未満株式の状況	-	977	-	-	991	-

* 1単元の株式数は1,000株

(注) 個人・その他には、自己株式(2008年9月末212千株、2008年3月末202千株)を含む。

⑤ 外国人持株比率

2003年3月末	2004年3月末	2005年3月末	2006年3月末	2007年3月末	2008年3月末	2008年9月末
19.82%	22.26%	30.14%	31.18%	36.21%	15.80%	14.65%

2. その他関連データ

① 従業員数(就業人員数)推移

(単位:人)

	2005年3月末	2006年3月末	2007年3月末	2008年3月末	2008年9月末(注)	2008年度末 予想
田辺三菱製薬	—	—	—	10,361	10,345	10,030
(単独)	(—)	(—)	(—)	(6,266)	(6,116)	(5,790)
田辺製薬	4,517	4,512	4,554	—	—	—
(単独)	(3,194)	(2,993)	(3,033)	(—)	(—)	(—)
三菱ウェルファーマ	5,917	5,902	5,907	—	—	—
(単独)	(3,546)	(3,575)	(3,488)	(—)	(—)	(—)

(注) 2008年9月末の従業員数には早期退職者(217名)を含む

② 2008年4月以降のトピックス

2008年 4月1日	「中期経営計画08-10 -Dynamic Synergy for 2015-」スタート
4月1日	ジェネリック医薬品のプロモーション・販売を目的とした子会社「田辺製薬販売」を設立
4月1日	薬価改定(当社の平均引き下げ率は4%台前半)
5月7日	長生堂製薬とのジェネリック医薬品事業を中心とした包括的な資本業務提携を進めることに関する基本合意書締結を発表
5月19日	遺伝子組換え人血清アルブミン製剤「メドウェイ注25%50mL」「メドウェイ注5%250mL」新発売
7月8日	7月4日に薬価基準収載されたジェネリック医薬品9成分15品目を新発売
7月30日	慢性腎不全患者に併発する二次性副甲状腺機能亢進症治療薬として、カナダで臨床試験を実施中の新規ビタミンD化合物CTA018について、サイトクロマと米国および日本を含むアジアにおける独占的開発・販売に関するライセンス契約を締結
8月21日	長生堂製薬の株式の過半数を取得
9月1日	食後過血糖改善剤「グルコバイ®錠50mg」「グルコバイ®錠100mg」(一般名:アカルボース)について、バイエル薬品との共同販売を開始
9月28日	HCV集団訴訟に関し、全国原告団との間で基本合意書を締結
9月30日	早期退職支援により217名が退職
10月1日	当社連結子会社であるMPテクノファーマと山口田辺製薬が合併し、田辺三菱製薬工場が誕生

本資料に関するお問合せ

広報部IRグループ

TEL 06-6205-5211 FAX 06-6205-5105